

6月8日(月)から受診券を順次お届け!

区民健診・検診が始まります



受診期間 **6月15日(月)～令和9年2月28日(日)**

問合せ 健康推進課健康推進係 ☎03-5211-8171 ✉kenkousuishin@city.chiyoda.lg.jp

区では、毎年6月15日～翌年2月末日を区民健診・検診の受診期間としています。区民健診・検診は、症状がなくても病気を早期に見つけるための検査です。できるだけ健康なうちに定期的に受診することが大切です。区では、対象の一人ひとりに受診券をお届けし、区内実施医療機関・歯科医療機関で、**すべて無料**で受けることができます。受診案内に同封の案内冊子からご希望の医療機関に予約して受診してください。



区民健診 区内約70か所で受診可能!

区民健診は、加入の保険の種類によって3つの区分に分かれており、**希望者はがん検診を併せて受診することができます。**また、20歳・25歳・30歳・35歳を対象とした若年節目健診があります。

千代田区国民健康保険に加入の40歳～74歳の方

1. 国保健診 (特定健康診査)

高齢者の医療の確保に関する法律に基づく、生活習慣病の予防・早期発見を目的とした特定健康診査です。

※区独自の上乗せの検査項目も含む

基本項目

問診、身体計測、腹囲計測、診察、
血圧、尿検査、血液検査(脂質検査、
肝機能検査、血糖検査、貧血検査
など)、心電図検査、胸部エックス
線検査

医師の判断で行う項目

尿沈渣、眼底・眼圧検査、
60歳以上の方=聴力(難聴)検査



社会保険(協会けんぽなど)に加入されている方

2. 成人健診

協会けんぽなどの社会保険に加入されている方を対象にした、法定の特定健康診査に含まれていない区独自の上乗せの検査項目を受診できる健康診査です。

※事業所の行う健康診断(特定健康診査)と併せて受診可能

基本項目

特定健診に含まれない尿検査・血液検査の項目、心電図検査、胸部エックス線検査

医師の判断で行う項目

尿沈渣、眼底・眼圧検査、
60歳以上の方=聴力(難聴)検査

後期高齢者医療制度に加入する方

3. 長寿健診

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、後期高齢者医療制度に加入する方を対象に行う健康診査です。

※区独自の上乗せの検査項目も含む

基本項目

問診、身体計測、診察、血圧、尿検査、血液検査(脂質検査、肝機能検査、血糖検査、貧血検査など)、心電図検査、胸部エックス線検査

医師の判断で行う項目

尿沈渣、眼底・眼圧検査、聴力(難聴)検査

20歳・25歳・30歳・35歳の方

若年節目健診

区独自の節目年齢の方を対象とした健康診査です。

※前年度対象者で未受診の方も受診可。希望の方は問い合わせを

検査項目

問診、身体計測、腹囲計測、診察、血圧、尿検査、血液検査(脂質検査、肝機能検査、血糖検査、貧血検査など)、心電図検査

高齢者補聴器購入費助成

聴力の低下により日常生活に支障がある方に補聴器購入費の一部または全部を助成します。**区民健診で聴力検査を受診し、中等度難聴と診断された場合、検査結果を医師意見書の代わりにできます(受診料・文書料無料)。**

対象 区内在住で、次のすべてに当てはまる方

- 60歳以上で、これから補聴器を購入される方
- 聴覚障害による身体障害者手帳をお持ちでない方
- 中等度難聴と医師の診断を受けた方
- 過去に本事業の助成金の交付を受けていない方

※申請前の補聴器購入は助成対象外

助成額(上限額)

- 住民税課税世帯7万2,450円
- 住民税非課税世帯14万4,900円

※住民登録で同一世帯に含まれる方全員が審査対象

申請方法 所定の申込書(問合せ先で配布)を直接問合せ先へ(代理申請可)

問合せ 在宅支援課在宅支援係(かがやきプラザ1階) ☎03-6265-6482



がん検診

生涯でがんと診断される確率は、2人に1人

国の指針に基づく対策型検診で、適切に受診することで死亡率の減少が見込まれるものです。特に推奨される方は積極的な受診をおすすめします。

※部位別がん罹患患者数の順位は、国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」(全国がん登録)2023年に基づく

40歳以上の方

● 肺がん検診 (部位別がん罹患患者数第2位)

検査項目 胸部エックス線検査(二重読影)



喫煙は最大の危険因子でも禁煙10年でリスク半減

肺がんの最大の危険因子は喫煙です。吸う人と吸わない人を比較すると男性で約4倍、女性で約3倍のリスク増となります。受動喫煙ではリスクが2~3割高まります。一方で、禁煙10年でリスクは半減し、60歳代で禁煙しても肺がんによる死亡リスクは低下するといわれています。とはいえ、ニコチンの依存性は高く、禁煙はつらいもの。区内29薬局が禁煙支援薬局として禁煙の無料相談を受け付けています。詳しくは区HPを確認を。



40歳以上の方(推奨 = 50歳~69歳の偶数年齢の方)

● 胃がん検診 (部位別がん罹患患者数第3位)

検査項目 バリウム検査または内視鏡検査*



*50歳以上の偶数年齢は、国の指針に基づく二重読影の内視鏡検査。鎮静にかかわる偶発症は、死亡などの重大事故に発展する可能性があるため、区民健診では内視鏡検査の鎮静剤使用は行わない

内視鏡検査 二重読影とは

区では、国の指針において、内視鏡検査は①50歳以上の方に②2年に1回行う、とされていることから、50歳以上の偶数年齢の方を対象に、内視鏡検査を行った専門医だけでなく、複数の専門医が撮影画像をチェックする内視鏡検査二重読影を行っています。

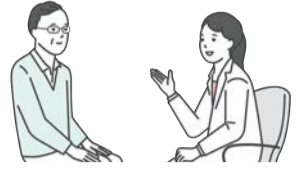
胃がんの原因は ピロリ菌の可能性

平成6(1994)年、WHOがピロリ菌を「確実な発がん因子(たばこやアスベストと同類)」と認定しました。ピロリ菌は、特に50代以上の感染率が高いといわれ、慢性胃炎の原因となり、長期的に胃がんのリスクを高めます。そのため、50代以上の方は特に定期的な検診の受診が大切です。

40歳以上の方(推奨 = 40~69歳)

● 大腸がん検診 (部位別がん罹患患者数第1位)

検査項目 免疫学的便潜血検査(2日法)



自覚症状が少ないがん

大腸がんの代表的な症状には、血便(便に血が混じる)などがありますが、初期の大腸がんには自覚症状がほとんどありません。便潜血検査は、便に含まれる微量な出血を検知するもので、大腸がんの早期発見・死亡率減少に有効性が確認されている検査です。

40歳以上で偶数年齢の女性※前年度対象者で未受診の方は問い合わせを

● 乳がん検診 (女性の部位別がん罹患患者数第1位)

検査項目 マンモグラフィ検査※一定条件に当てはまり、受診者が同意する場合は、視触診を行う

20歳以上で偶数年齢の女性※前年度対象で未受診の方は問い合わせを

● 子宮頸がん検診 (女性の部位別がん罹患患者数第5位)

検査項目 子宮頸部の細胞診

※一定条件に当てはまり、受診者が同意する場合は、子宮体部の細胞診を行う



東京都「女性のがん検診受診応援事業」

対象者に2,000円相当の健康関連グッズが東京ポイントを2,000ポイントプレゼント! 詳しくは都HPを確認を。*検診機関が発行した結果通知が必要

対象 令和8年度に次の検診を受診した方

- 子宮頸がん検診を受診した20歳以上の女性
- 乳がん検診を受診した40歳以上の女性

※区民健診のほか職場や人間ドックで受診したのも対象

申込方法 都の特設サイトの申請フォームから(10月ごろ受付開始予定)

問合せ (都)保健医療局健康推進課 ☎03-5320-4367



精密検査を受けましょう

要精密検査の場合は、精密検査を必ず受診してください。要精密検査=がんではありませんが、がんであるかどうかは、精密検査による診断で確定します。精密検査を受けないとせっかくの検診も効果がなくなってしまいます。

要精密検査となった場合の主な検査方法

肺がん	胸部CT検査または気管支鏡検査	胃がん	内視鏡検査および生体検査 ※区民健診で内視鏡検査を受けた際にがんが疑われる場合は、検診時に生体検査を行う(費用は保険診療による自己負担)
大腸がん	全大腸内視鏡検査 ※全大腸内視鏡検査が困難な場合は、大腸CT検査またはS状結腸内視鏡および注腸エックス線検査の併用	乳がん	マンモグラフィ検査の追加撮影、乳房超音波検査、穿刺吸引細胞診、針生検など
子宮頸がん	コルポスコピー診、組織診、ヒトパピローマウイルス検査		

区民歯科健診

口の健康は体の健康!

区内約160か所で受診可能!

寝たきりで通院できない方は訪問歯科健診も利用できます

19歳以上の方

口の健康は生活習慣病との関連も指摘されています。区民歯科健診を通じて早期に口の状態を知ること、必要に応じて適切な治療を行い、健康を維持することができます。さらに65歳以上の方には、フレイル予防のための項目もチェックします。

検査項目

問診、現在歯・喪失歯・歯肉の状況、口腔清掃の状態、歯科保健指導

65歳以上の方の追加項目

義歯の清掃状態、口腔乾燥、口腔衛生状態、嚥下機能、咬合状態、咀嚼機能、粘膜の異常、舌・口唇機能



引っ越しや保険が切り替わった方には受診券を再発行します。区ポータルサイトから申請または電話、Eメールでお問い合わせを。



▲区民健診受診券再発行



▲区民歯科健診受診券兼問診記録票発行申請



▲子宮頸がん・乳がん検診受診券再発行